

## 災害から命を守る揖斐川町総合防災訓練

～災害に強い町をめざして～

8月25日(日)、大地震を想定した防災訓練が、北和中学校を主会場として行われました。

訓練は、静岡県駿河湾と紀伊半島南東沖をそれぞれ震源とする地震が連続で発生したことを想定したもので、町全域で約1万人が地域の集会場に避難するなど訓練に参加しました。

主会場では、電気・水・ガス・道路・通信などの関係機関による復旧訓練や、女性防火クラブや大和小学校少年消防クラブによる初期消火訓練、赤十字奉仕団による炊き出し、災害救助ボランティアによる負傷者搬送訓練など、さまざまな訓練が行われ、地域が一体となって災害時の体制や連携を確認し、防災意識を高めました。



▲住民避難の様子



▲北和中少年消防クラブによる放水



▲応急救護訓練

## 中学生議会開会

～生徒らが町政に提言～

8月6日(火)、揖斐川町役場議場で、中学生議会が行われ、町内6校の代表17人が議員になり町政について質問やグループ発表を行いました。

今回の中学生議会の議長は、揖斐川中学校3年の林千里さんが務めました。

第1部では、各議員から郷土や学校の誇りに対しての提言がありました。

第2部の「揖斐川町をより発展させるための町への質問や提言」では、中学生ならではの活発な提案や要望があり、町政への関心の高さが見られました。

答弁をした宗宮町長は、「今後もし若い人が自由に提案できる場を作りたい」と語り、議長の林さんは議会を振り返り、「提言や質問ができてうれしかった。町政が少しわかった」と話しました。



▲学校ごとの提言の様子

## 公正金魚すくい大会

～大人も童心に返って～

8月3日(土)、久瀬公正公民館で金魚すくい大会が開かれました。

今回で9回目になる金魚すくい大会には大人から子どもまで約90人が参加しました。

地域おこしを目的に久瀬公正公民館が始めた金魚すくいは、年齢に関係なく楽しめる大好評で、大人も童心に帰ってポイ(紙が貼られた金魚をすくう道具)を金魚に向かって走らせました。紙が破れないように金魚をすくうにはコツが必要と話す小学生の参加者は、次から次へとお椀に金魚を運んでいました。

この大会の優勝者は次のとおりです。

小学生の部 久瀬小学校4年

高橋 拓見さん

杉山麻衣子さん

一般の部



▲真剣な表情でみつめる子どもたち



▲写真左から 小寺さん 杉山さん 山本さん

8月8日(木)に本巣市で開催された第53回岐阜県身体障害者相談員研究会で、揖斐川町の身体障害者相談員3名に岐阜県知事感謝状などが授与されました。

町の身体障害者相談員は身体障がい者(児)の福祉増進に理解と熱意のある方が町から12名委嘱されており、補装具や日常生活用具の給付制度の案内、身近な問題についての相談など様々な活動をしています。

この表彰では、杉山たつ子さん(北方)に知事感謝状、小寺敏秀さん(川合)と山本豊彦さん(小津)に会長表彰が授与されました。知事感謝状の杉山さんは、11年にわたる相談員としての功績が認められ今回の授与となりました。

### 身体障害者相談員が 功労者表彰を受賞



▲峯神社での踊りの様子

三倉の太鼓踊り(県重要無形民俗文化財)が、8月15日(木)、三倉地区(久瀬)で行われました。

この踊りは、約700年前に源氏の武将たちが戦勝を祝って踊ったのがはじまりとされ、現在は雨乞いや無病息災を祈願する踊りとして、三倉古代太鼓踊り保存会が伝統を受け継いでいます。

福田寺を道行きの踊りで出発した踊り手は、峯神社で宮入りやしやぎりなどの輪踊りを奉納しました。

大勢の見物客が見守る中、華やかな「シナイ」を背負った踊り手が力強い舞を披露しました。

### 三倉の太鼓踊り

力強い舞を披露



▲華麗な伝統の舞(光明寺にて)

8月16日(金)、春日川合地区で川合太鼓踊りが行われました。

川合太鼓踊りは、鮮やかな衣装を着た9人の踊り手と4人の笛などで構成され、ボンデンという幣束をもつ踊り手が、列の先頭に立って踊りの指揮をとり、列の最後尾には「ヤクガシラ」という踊り手が太鼓を抱きかかえ、激しく動きながら太鼓を打ち鳴らします。また、川合太鼓踊りは踊り手の顔が見えないという珍しい特徴を持っています。

光明寺では大勢の見物客が見守る中、お盆の時期に合わせた力強くも華やかな先祖供養の送り太鼓として舞が披露されました。

### 春日の太鼓踊り

華麗な踊りで魅了



▲TRYの和太鼓演奏

8月17日(土)、谷汲山華厳寺の境内で、「お十七夜コンサート」が開催されました。

町や参道の賑わいを取り戻そうと地元の人たちの創意工夫で始まったこのイベントは、年々盛り上がりを見せ、この日は、約1000人の来場者が会場を埋めました。

出演は和楽器奏者の凛花さん率いる和太鼓ユニットの「TRY」。

来場者は迫力ある和太鼓や優雅な「しの笛」の演奏を楽しみました。

由緒ある谷汲山華厳寺の仁王門をバックにかがり火や照明で演出された幻想的な雰囲気の中、力強い和太鼓と情感たつぷりの音色が月夜に響き渡りました。

### お十七夜コンサート

谷汲山華厳寺

## 水道施設を美しく

〈清掃奉仕活動〉

8月21日(水)、揖斐川町の水道工事店有志15社が、町内の上水道配水池など、水道施設3か所の清掃奉仕活動を行いました。

毎年行われているこの奉仕活動には、15事業所から各1名、計15名が参加して早朝からお昼まで、水道施設やその周辺の草刈りをくまなく行い、施設の美化に努めました。

皆さんの協力によって施設周辺は、とてもきれいになりました。清掃奉仕活動に参加された皆さん、ありがとうございました。



▲水道施設清掃の様子

## 小学生県外研修派遣事業(北海道芽室町・高知県宿毛市)

〈ホームステイと農業・漁業体験と学校交流〉

8月23日(金)から27日(火)まで、町内の小学校6年生20人が県外派遣研修で北海道芽室町と高知県宿毛市を訪れました。

児童らは、現地の小学校との交流やそれぞれの地の文化や産業に触れ見聞を深めました。

芽室町では農家にホームステイしてジャガイモやトウモロコシの収穫など十勝平野の大規模な農業を体験。宿毛市では、海でかご漁を体験し、とれたての魚を自分でさばいて味わったり、シヌノーケリングなどを楽しみ、岐阜県にはない「海」を楽しみました。

研修を終えた児童らは、「研修で学んだことを学校の友達や家族に伝えたい」と話していました。



▲派遣団出発式



▲宿毛市での刺身づくり



▲芽室町でのジャガイモの収穫体験

## サマーフェスティビガワ

〈GO FESTIVAL〉

8月25日(日)、夏の音楽イベント「サマーフェスティビガワ」が三輪神社で開かれ、約1000人が音楽ライブや買い物を楽しみました。

このイベントは、町内の若い世代の有志らが地元で楽しめるイベントをと企画したもので、今回が7回目の開催です。この日の朝は、雨が降ったため開始が少し遅れたものの、午後からは天候が回復し、夏フェスに相応しい青空の下での開催になりました。

舞殿では、沖縄音楽の「Ryūsawa」やアコースティックバンドのライブが行われ、心地の良い音が境内に響き渡っていました。

また、他にも会場では飲食のブースや雑貨を販売するブースなどがあり、来場者は夏の日を満喫しました。



▲舞殿の音楽ライブの様子